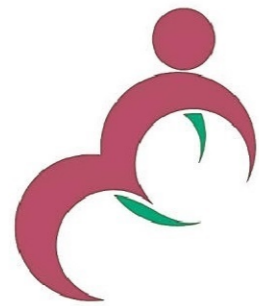


袋井市陸協20周年記念事業

## マーク、マスコット制作「一緒に飛躍を」



創立20周年の記念事業で制作したシンボルマーク



袋井市陸上競技協会のキャラクター「ホッパー」

## 静岡文化芸術大生が協力

袋井市陸上競技協会は2020年に迎えた創立20周年の記念事業として、シンボルマークとマスコットキャラクター、ロゴデザインを制作した。協会アイデンティティ構築に向けた取り組みで、協会旗や横断幕、グッズなどを展開し、イメージアップに活用する。

静岡文化芸術大(浜松市中区)デザイン学部の学生を対象に募集し、3年生の大石海帆さん(21)のデザイン案を採用した。大石さんによる

と、シンボルマークは「陸上競技選手の躍動」がテーマで、競技に真摯(しんし)に向き合い、全力で取り組む選手の姿を表現した。

キャラクターの「ホッパー」は、袋井市と森町を想起させるえんじ色と緑色を使用。競技場を駆け抜ける風雲児を表現するため、風になびく髪でシルエットにアクセントをつけた。丸みのある姿に仕上げ、若い世代にも親しみを持ってもらえるよう工夫したという。

同協会は本年度の総会でデザインや協会旗などをお披露目した。大会での掲示、選手へのプレゼントなどを通じてアピールするとしている。協会から特別表彰を受けた大石さんは「歴史ある団体のシンボルやキャラクターをデザインできたことは大変光栄。袋井陸協と一緒に飛躍することを願っている」と話した。